

岡山県の景気観測調査

(平成25年10～12月期実績)

平成26年1月27日

岡山県商工会議所連合会

- 1. 調査方法** FAXによるアンケート
- 2. 調査内容** 景況のほか、生産額・売上額など10項目
①平成25年10～12月期を前年同期と比較
②平成26年1～3月期の先行き見通しを平成25年10～12月期と比較
- 3. 調査時期** 12月下旬
- 4. 調査対象** 県下商工会議所会員企業587社
- 5. 有効回答数** 565社 (回収率96.2%)
- | | | | | |
|-------|------|------------|------------|------------|
| 製造業 | 196社 | 食料品30社 | 繊維関連36社 | 紙・印刷・出版21社 |
| | | 機械金属32社 | 電気・精密機械13社 | 鉱業・窯業・土石9社 |
| | | 輸送用機械器具16社 | その他39社 | |
| 建設業 | 85社 | | | |
| 卸売業 | 75社 | | | |
| 小売業 | 100社 | | | |
| サービス業 | 109社 | | | |
- 6. 調査開始時期** 平成10年12月

7. DI(ディフュージョン・インデックス)方式

DIは各調査項目について判断の状況を示す。

ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)の回答割合が多いことを示す。

DI = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)

8. 問い合わせ先

岡山県商工会議所連合会 TEL(086)232-2262

岡山商工会議所	企画振興部	TEL(086)232-2262
倉敷商工会議所	産業振興課	TEL(086)424-2111
玉島商工会議所	指導課	TEL(086)526-0131
児島商工会議所	総務課	TEL(086)472-4450
津山商工会議所	企業振興課	TEL(0868)22-3141
玉野商工会議所	中小企業相談所	TEL(0863)33-5010
笠岡商工会議所	指導課	TEL(0865)63-1151
井原商工会議所	業務課	TEL(0866)62-0420
備前商工会議所	中小企業振興部	TEL(0869)64-2885
高梁商工会議所	総務課	TEL(0866)22-2091
総社商工会議所	総務課	TEL(0866)92-1122
新見商工会議所	指導課	TEL(0867)72-2139

平成25年10～12月期「景況概要」

「景況は回復基調が続く、先行きは消費増税の影響を懸念」

景況全体では、DI値が2期連続で大幅に改善し、▲8.4と調査開始以来の最高値となった。小売業でマイナス幅がわずかに拡大したものの、その他の業種では大幅に改善し、建設業とサービス業は過去最高値となった。項目別では、生産額・売上額DIは5期連続でマイナス幅が縮小し改善傾向にある一方、原材料・商品仕入価格DIは4期連続でマイナス幅を拡大し、悪化した。先行き見通しDIは大幅にマイナス幅が縮小しており、消費増税前の駆け込み需要を見込むも反動が懸念される。

1. 景況

総合DI（好転－悪化）は▲8.4と7～9月期に比べ8.2ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、建設業でマイナスからプラスへ転換、製造業、卸売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、小売業ではマイナス幅が拡大した。

2. 生産額・売上額

総合DI（増加－減少）は▲1.7と7～9月期に比べ9.2ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業でマイナスからプラスへ転換、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。

3. 受注額

総合DI（増加－減少）は7.1と7～9月期に比べ16.4ポイント改善しマイナスからプラスへ転換した。業種別では、建設業でプラスマイナスゼロからプラスへ転換、製造業でマイナスからプラスへ転換した。

4. 原材料・商品仕入価格

総合DI（下降－上昇）は▲40.4と7～9月期に比べ3.6ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、製造業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業、卸売業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

5. 製品・商品販売価格

総合DI（上昇－下降）は0.4と7～9月期に比べ4.2ポイント改善しマイナスからプラスへ転換した。業種別では、卸売業でプラス幅が拡大、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、小売業ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、製造業ではマイナス幅が拡大した。

6. 製品在庫・商品在庫

総合DI（減少－増加）は0.0と7～9月期に比べ2.2ポイントプラス幅が縮小しプラスからプラスマイナスゼロへ転換した。業種別では、製造業でマイナス幅が縮小したが、卸売業、小売業、サービス業でプラス幅が縮小した。

7. 資金繰り

総合DI（好転－悪化）は▲14.6と7～9月期に比べ1.0ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、製造業、建設業でマイナス幅が縮小したが、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が拡大した。

8. 採算（収益）

総合DI（好転－悪化）は▲20.0と7～9月期に比べ4.9ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、建設業、卸売業でマイナス幅が縮小したが、小売業、サービス業でマイナス幅が拡大した。

9. 従業員（常用）

総合DI（不足－過剰）は8.5と7～9月期に比べ3.5ポイント増加し、プラス幅が拡大した。業種別では、建設業、サービス業でプラス幅が拡大、製造業、小売業でマイナスからプラスへ転換、卸売業でマイナスからプラスマイナスゼロへ転換した。

10. 従業員（臨時）

総合DI（不足－過剰）は9.6と7～9月期に比べ1.6ポイント増加し、プラス幅が拡大した。業種別では、製造業、建設業、小売業、サービス業でプラス幅が拡大した。しかし、卸売業ではプラス幅が縮小した。

1. 景況

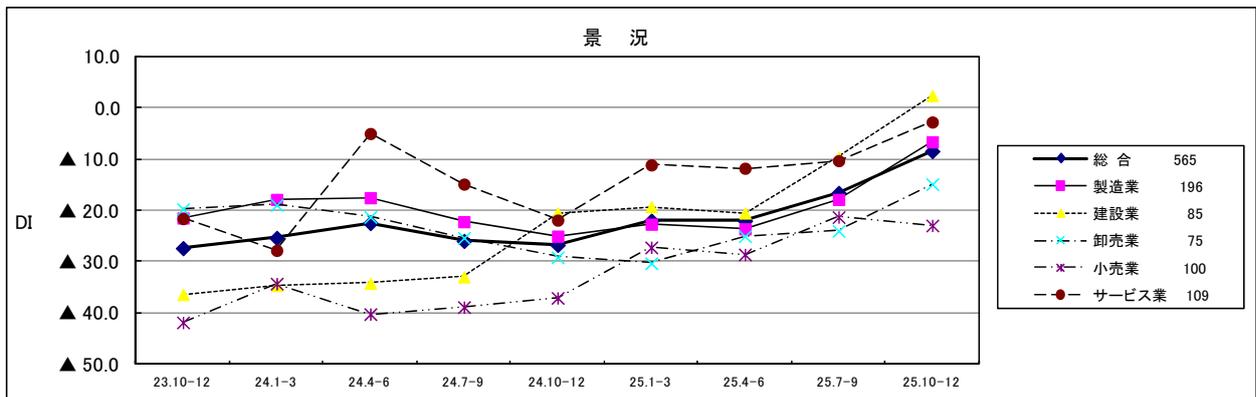
(1) 全体

総合D I（好転→悪化）は▲8.4と7～9月期に比べ8.2ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、建設業でマイナスからプラスへ転換、製造業、卸売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、小売業ではマイナス幅が拡大した。

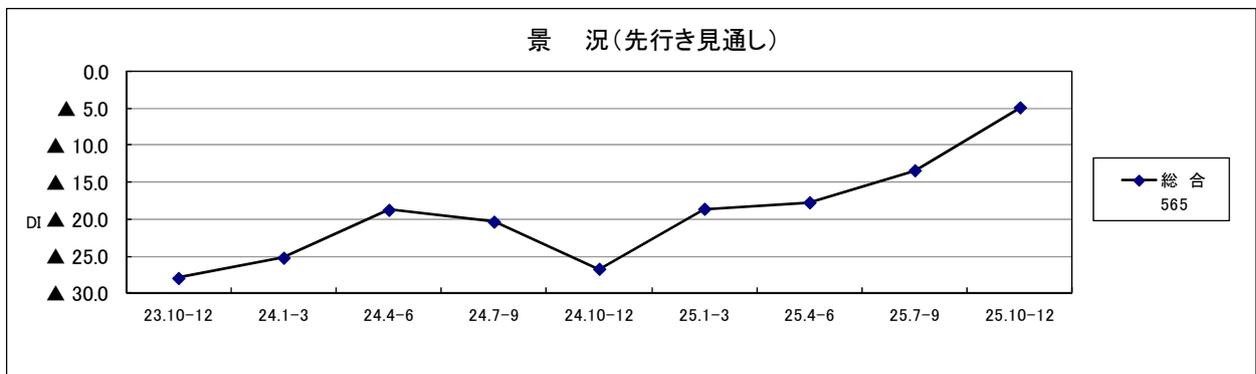
平成26年1～3月期の先行き見通し総合D Iは▲4.9（前回調査時の先行き見通し総合D I ▲13.4）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

景況		23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
総合	565	▲27.3	▲25.4	▲22.4	▲25.9	▲26.7	▲22.0	▲22.0	▲16.6	▲8.4
製造業	196	▲21.5	▲17.9	▲17.5	▲22.2	▲25.0	▲22.7	▲23.6	▲17.9	▲6.6
建設業	85	▲36.4	▲34.6	▲34.2	▲32.9	▲20.5	▲19.3	▲20.5	▲9.6	2.4
卸売業	75	▲19.7	▲18.9	▲21.3	▲25.3	▲29.1	▲30.3	▲25.0	▲24.0	▲14.9
小売業	100	▲41.8	▲34.3	▲40.2	▲38.8	▲37.0	▲27.2	▲28.6	▲21.3	▲22.9
サービス業	109	▲21.6	▲27.8	▲5.0	▲14.9	▲21.9	▲11.1	▲11.8	▲10.3	▲2.8



<参考> 先行き見通し

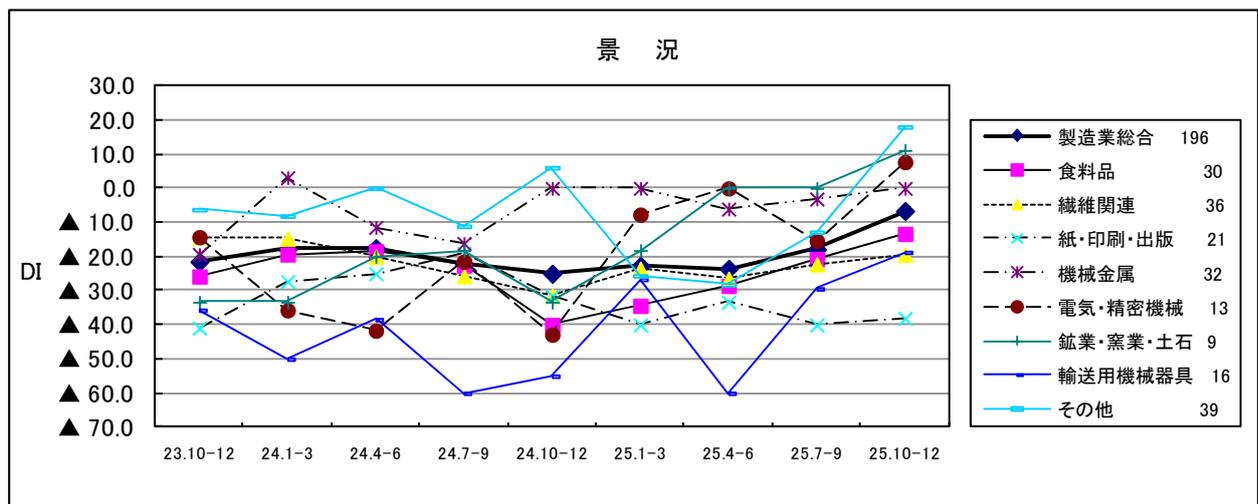
先行き見通し		23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
総合	565	▲28.0	▲25.2	▲18.8	▲20.4	▲26.7	▲18.6	▲17.7	▲13.4	▲4.9



(2) 製造業の内訳

鉱業・窯業・土石ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、電気・精密機械、その他ではマイナスからプラスへ転換、機械金属ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、食料品、繊維関連、紙・印刷・出版、輸送用機械器具ではマイナス幅を縮小させた。

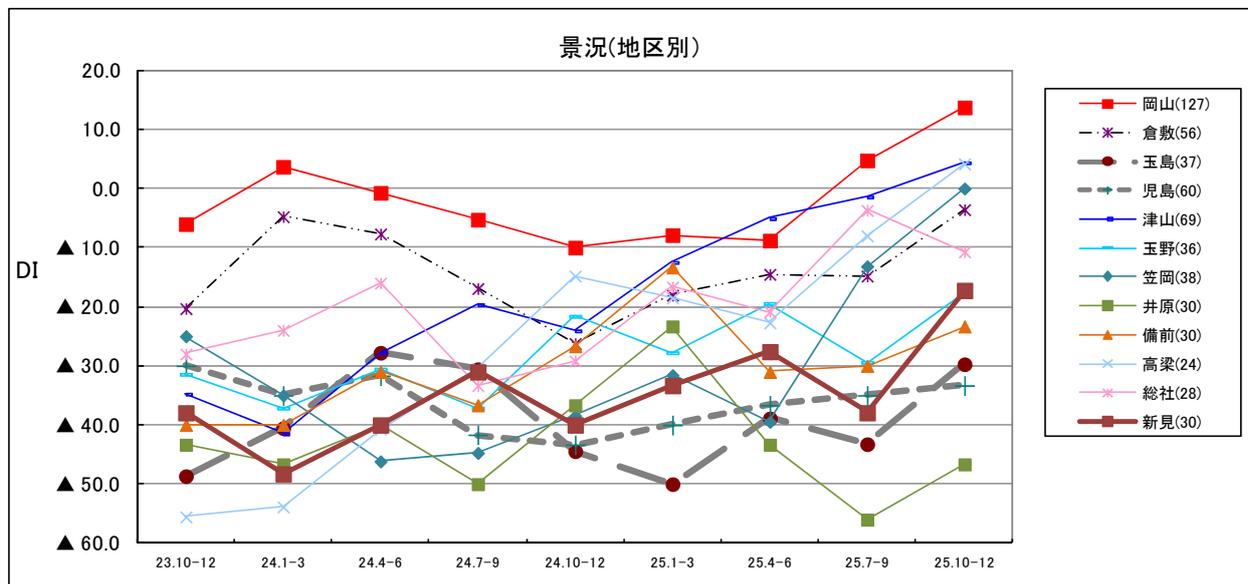
景況		23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
製造業総合	196	▲ 21.5	▲ 17.9	▲ 17.5	▲ 22.2	▲ 25.0	▲ 22.7	▲ 23.6	▲ 17.9	▲ 6.6
食料品	30	▲ 25.8	▲ 19.4	▲ 18.4	▲ 22.6	▲ 40.0	▲ 34.4	▲ 28.6	▲ 20.7	▲ 13.3
繊維関連	36	▲ 14.3	▲ 14.7	▲ 20.0	▲ 25.7	▲ 31.4	▲ 23.5	▲ 26.5	▲ 22.2	▲ 19.4
紙・印刷・出版	21	▲ 40.9	▲ 27.3	▲ 25.0	▲ 19.0	▲ 31.6	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 38.1
機械金属	32	▲ 19.4	3.1	▲ 11.4	▲ 16.1	0.0	0.0	▲ 6.1	▲ 3.1	0.0
電気・精密機械	13	▲ 14.3	▲ 35.7	▲ 41.7	▲ 21.4	▲ 42.9	▲ 7.7	0.0	▲ 15.4	7.7
鉱業・窯業・土石	9	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 33.3	▲ 18.2	0.0	0.0	11.1
輸送用機械器具	16	▲ 35.7	▲ 50.0	▲ 38.5	▲ 60.0	▲ 55.0	▲ 26.7	▲ 60.0	▲ 29.4	▲ 18.8
その他	39	▲ 6.3	▲ 8.1	0.0	▲ 11.1	6.1	▲ 25.6	▲ 28.2	▲ 12.8	17.9



<参考>地区別

岡山ではプラス幅が拡大、津山、高梁ではマイナスからプラスへ転換、笠岡ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、倉敷、玉島、児島、玉野、井原、備前、新見ではマイナス幅が縮小した。しかし、総社ではマイナス幅が拡大した。

景況(地区別)	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
岡山(127)	▲ 6.0	3.7	▲ 0.7	▲ 5.3	▲ 10.0	▲ 7.9	▲ 8.8	4.8	13.7
倉敷(56)	▲ 20.3	▲ 4.8	▲ 7.7	▲ 16.9	▲ 26.2	▲ 18.0	▲ 14.5	▲ 14.8	▲ 3.6
玉島(37)	▲ 48.6	▲ 40.5	▲ 27.8	▲ 30.6	▲ 44.4	▲ 50.0	▲ 38.9	▲ 43.2	▲ 29.7
児島(60)	▲ 30.0	▲ 35.0	▲ 31.7	▲ 41.7	▲ 43.3	▲ 40.0	▲ 36.7	▲ 35.0	▲ 33.3
津山(69)	▲ 34.8	▲ 41.5	▲ 27.8	▲ 19.6	▲ 24.1	▲ 12.5	▲ 5.1	▲ 1.4	4.3
玉野(36)	▲ 31.4	▲ 37.1	▲ 30.6	▲ 37.1	▲ 21.6	▲ 27.8	▲ 19.4	▲ 29.4	▲ 17.6
笠岡(38)	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 46.2	▲ 44.7	▲ 38.5	▲ 31.6	▲ 39.5	▲ 13.2	0.0
井原(30)	▲ 43.3	▲ 46.7	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 36.7	▲ 23.3	▲ 43.3	▲ 56.0	▲ 46.7
備前(30)	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 31.0	▲ 36.7	▲ 26.7	▲ 13.3	▲ 31.0	▲ 30.0	▲ 23.3
高梁(24)	▲ 55.6	▲ 53.8	▲ 40.7	▲ 30.4	▲ 14.8	▲ 18.5	▲ 22.7	▲ 8.0	4.2
総社(28)	▲ 28.0	▲ 24.0	▲ 16.0	▲ 33.3	▲ 29.2	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 3.7	▲ 10.7
新見(30)	▲ 37.9	▲ 48.3	▲ 40.0	▲ 31.0	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 27.6	▲ 37.9	▲ 17.2



2. 生産額・売上額

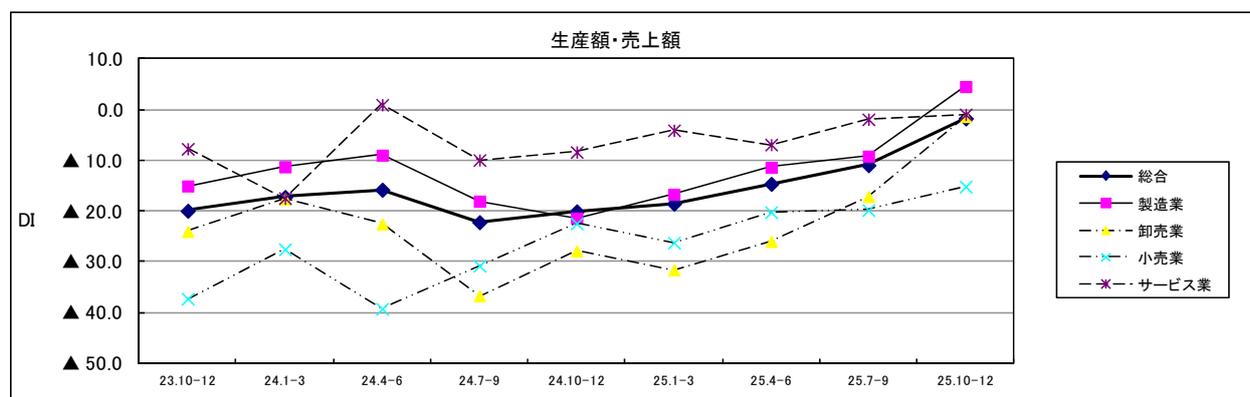
(1) 全体

総合D I（増加－減少）は▲1.7と7と7～9月期に比べ9.2ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、製造業でマイナスからプラスへ転換、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。

平成26年1～3月期の先行き見通し総合D Iは4.4（前回1.1）となり、プラス幅が拡大する見通し。

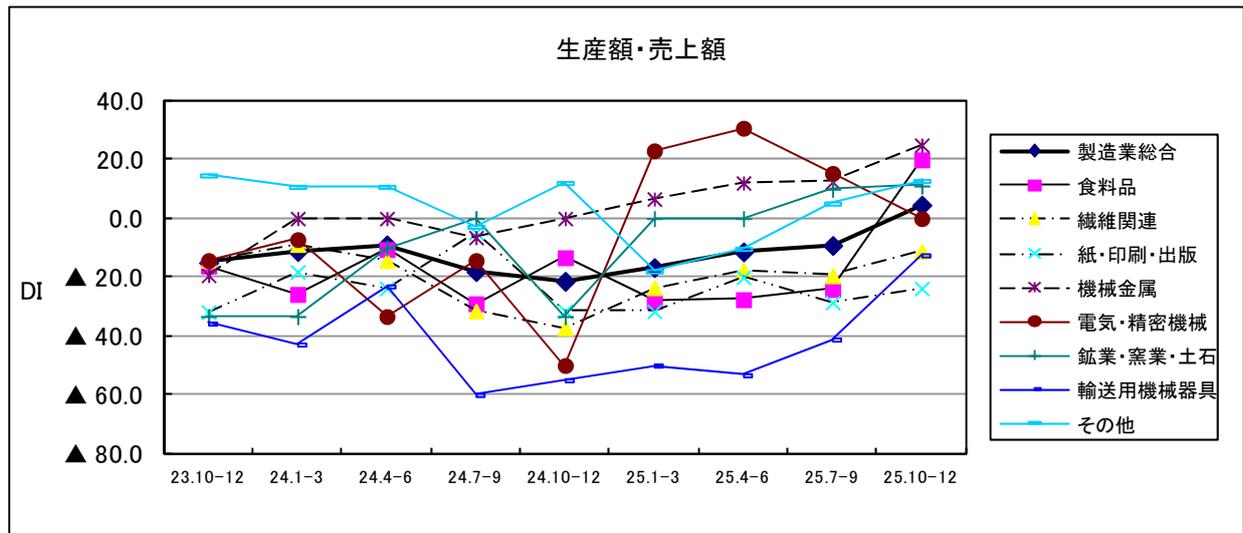
生産額・売上額	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
総合	▲ 19.9	▲ 17.2	▲ 15.8	▲ 22.2	▲ 20.0	▲ 18.5	▲ 14.6	▲ 10.9	▲ 1.7
製造業	▲ 15.0	▲ 11.2	▲ 9.0	▲ 18.0	▲ 21.4	▲ 16.7	▲ 11.3	▲ 9.1	4.6
卸売業	▲ 24.0	▲ 17.6	▲ 22.5	▲ 36.7	▲ 27.8	▲ 31.6	▲ 26.0	▲ 17.1	▲ 1.3
小売業	▲ 37.3	▲ 27.5	▲ 39.3	▲ 30.8	▲ 22.4	▲ 26.2	▲ 20.2	▲ 19.8	▲ 15.2
サービス業	▲ 7.7	▲ 17.4	1.0	▲ 9.9	▲ 8.3	▲ 4.0	▲ 6.9	▲ 1.9	▲ 0.9



(2) 製造業の内訳

機械金属、鉱業・窯業・土石、その他ではプラス幅が拡大、食料品ではマイナスからプラスへ転換、繊維関連、紙・印刷・出版、輸送用機械器具ではマイナス幅が縮小した。しかし、電気・精密機械ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換した。

生産額・売上額	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
製造業総合	▲ 15.0	▲ 11.2	▲ 9.0	▲ 18.0	▲ 21.4	▲ 16.7	▲ 11.3	▲ 9.1	4.6
食料品	▲ 16.1	▲ 25.8	▲ 10.5	▲ 29.0	▲ 13.3	▲ 28.1	▲ 27.6	▲ 24.1	20.0
繊維関連	▲ 14.3	▲ 8.8	▲ 14.3	▲ 31.4	▲ 37.1	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 19.4	▲ 11.1
紙・印刷・出版	▲ 31.8	▲ 18.2	▲ 23.8	▲ 4.8	▲ 31.6	▲ 31.6	▲ 20.0	▲ 28.6	▲ 23.8
機械金属	▲ 19.4	0.0	0.0	▲ 6.5	0.0	6.7	12.1	12.5	25.0
電気・精密機械	▲ 14.3	▲ 7.1	▲ 33.3	▲ 14.3	▲ 50.0	23.1	30.8	15.4	0.0
鉱業・窯業・土石	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 10.0	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0	10.0	11.1
輸送用機械器具	▲ 35.7	▲ 42.9	▲ 23.1	▲ 60.0	▲ 55.0	▲ 50.0	▲ 53.3	▲ 41.2	▲ 12.5
その他	14.7	10.8	10.8	▲ 2.8	12.1	▲ 17.9	▲ 10.3	5.1	12.8



3. 受注額

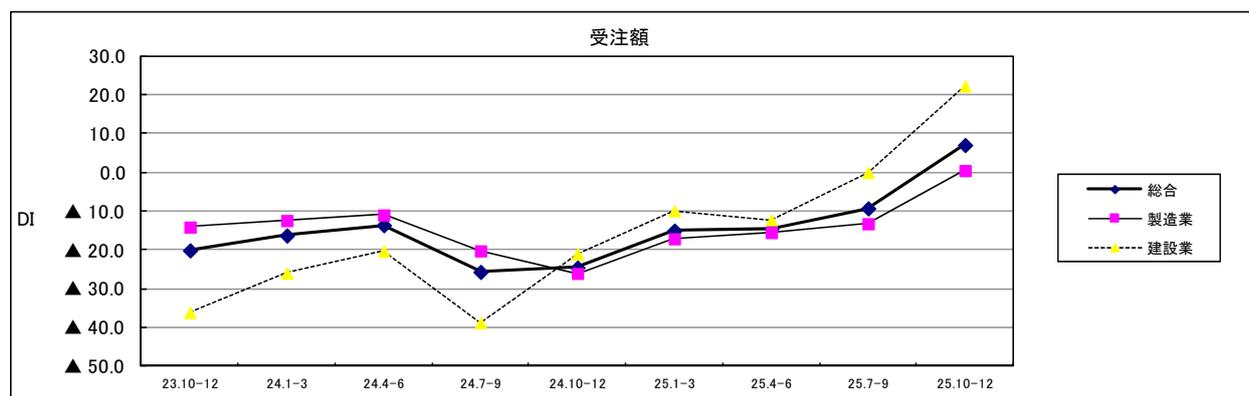
(1) 全体

総合D I（増加－減少）は7. 1と7～9月期に比べ16. 4ポイント改善しマイナスからプラスへ転換した。

業種別では、建設業でプラスマイナスゼロからプラスへ転換、製造業でマイナスからプラスへ転換した。

平成26年1～3月期の先行き見通し総合D Iは5. 1（前回2. 5）となり、プラス幅が拡大する見通し。

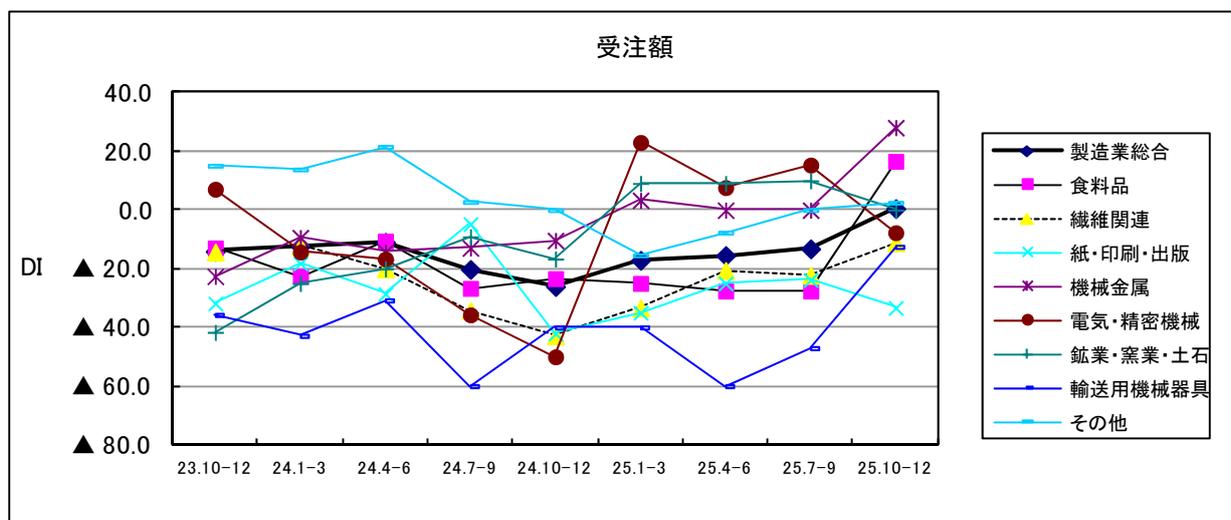
受注額	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
総合	▲ 20.1	▲ 16.2	▲ 13.6	▲ 25.6	▲ 24.5	▲ 15.0	▲ 14.5	▲ 9.3	7.1
製造業	▲ 14.1	▲ 12.4	▲ 10.9	▲ 20.2	▲ 26.0	▲ 17.1	▲ 15.5	▲ 13.2	0.5
建設業	▲ 36.1	▲ 26.0	▲ 20.3	▲ 38.8	▲ 21.0	▲ 9.9	▲ 12.2	0.0	22.4



(2) 製造業の内訳

機械金属、その他ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、食料品ではマイナスからプラスへ転換、繊維関連、輸送用機械器具ではマイナス幅を縮小した。しかし、鉱業・窯業・土石ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、電気・精密機械ではプラスからマイナスへ転換、紙・印刷・出版ではマイナス幅を拡大させた。

受注額	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
製造業総合	▲ 14.1	▲ 12.4	▲ 10.9	▲ 20.2	▲ 26.0	▲ 17.1	▲ 15.5	▲ 13.2	0.5
食料品	▲ 12.9	▲ 22.6	▲ 10.5	▲ 26.7	▲ 23.3	▲ 25.0	▲ 27.6	▲ 27.6	16.7
繊維関連	▲ 14.3	▲ 12.1	▲ 20.0	▲ 34.3	▲ 42.9	▲ 33.3	▲ 20.6	▲ 22.2	▲ 11.1
紙・印刷・出版	▲ 31.8	▲ 18.2	▲ 28.6	▲ 4.8	▲ 42.1	▲ 35.0	▲ 25.0	▲ 23.8	▲ 33.3
機械金属	▲ 22.6	▲ 9.4	▲ 14.3	▲ 12.9	▲ 10.3	3.3	0.0	0.0	28.1
電気・精密機械	7.1	▲ 14.3	▲ 16.7	▲ 35.7	▲ 50.0	23.1	7.7	15.4	▲ 7.7
鉱業・窯業・土石	▲ 41.7	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 9.1	▲ 16.7	9.1	9.1	10.0	0.0
輸送用機械器具	▲ 35.7	▲ 42.9	▲ 30.8	▲ 60.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 60.0	▲ 47.1	▲ 12.5
その他	15.2	13.9	21.6	2.8	0.0	▲ 15.4	▲ 7.7	0.0	2.6



4. 原材料・商品仕入価格

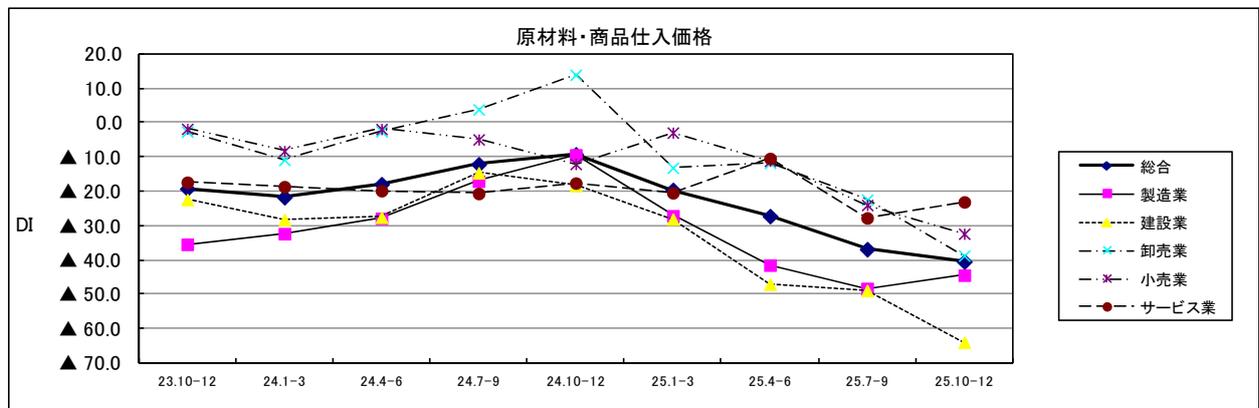
(1) 全体

総合D I（下降－上昇）は▲40.4と7～9月期に比べ3.6ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、製造業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業、卸売業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

平成26年1～3月期の先行き見通し総合D Iは▲34.0（前回▲32.5）となり、マイナス幅が拡大する見通し。

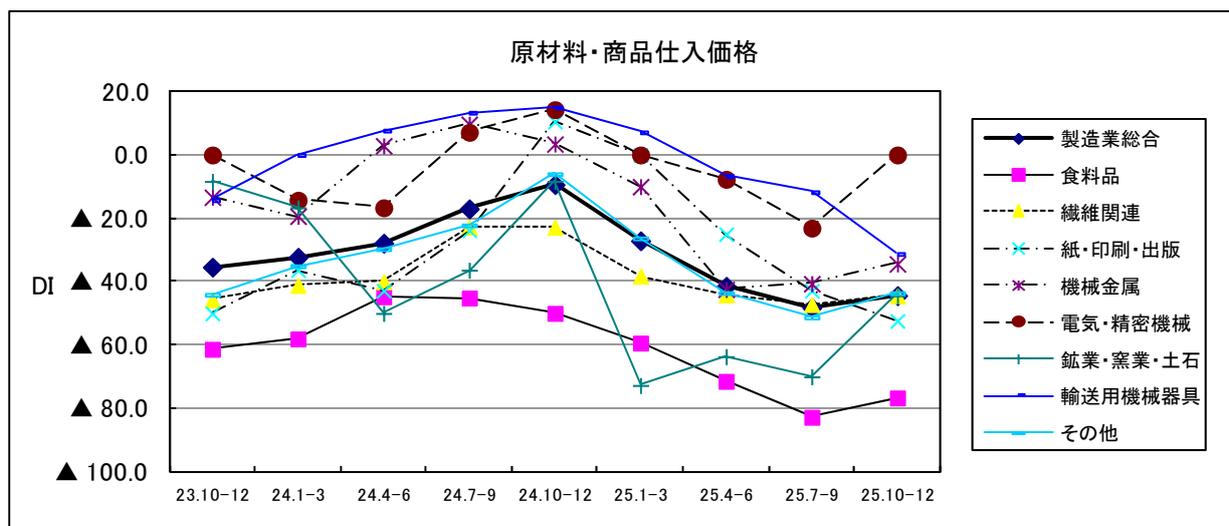
原材料・商品仕入価格	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
総合	▲19.2	▲21.7	▲17.9	▲12.1	▲9.2	▲19.6	▲27.2	▲36.8	▲40.4
製造業	▲35.4	▲32.3	▲27.9	▲17.0	▲9.4	▲27.1	▲41.5	▲48.2	▲44.4
建設業	▲22.4	▲28.2	▲27.5	▲14.6	▲18.3	▲28.0	▲47.0	▲48.8	▲63.9
卸売業	▲2.6	▲10.8	▲2.5	3.8	13.9	▲13.2	▲11.7	▲22.4	▲38.7
小売業	▲1.8	▲8.3	▲1.9	▲4.9	▲12.0	▲2.9	▲11.1	▲24.0	▲32.3
サービス業	▲17.3	▲18.6	▲19.8	▲20.6	▲17.6	▲20.4	▲10.4	▲27.7	▲23.1



(2) 製造業の内訳

電気・精密機械ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、食料品、繊維関連、機械金属、鉱業・窯業・土石、その他ではマイナス幅が縮小した。しかし、紙・印刷・出版、輸送用機械器具ではマイナス幅を拡大させた。

原材料・商品仕入価格	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
製造業総合	▲ 35.4	▲ 32.3	▲ 27.9	▲ 17.0	▲ 9.4	▲ 27.1	▲ 41.5	▲ 48.2	▲ 44.4
食料品	▲ 61.3	▲ 58.1	▲ 44.7	▲ 45.2	▲ 50.0	▲ 59.4	▲ 71.4	▲ 82.8	▲ 76.7
繊維関連	▲ 45.7	▲ 41.2	▲ 40.0	▲ 22.9	▲ 22.9	▲ 38.2	▲ 44.1	▲ 47.2	▲ 44.4
紙・印刷・出版	▲ 50.0	▲ 36.4	▲ 42.9	▲ 23.8	10.5	0.0	▲ 25.0	▲ 42.9	▲ 52.4
機械金属	▲ 13.3	▲ 19.4	2.9	9.7	3.4	▲ 10.0	▲ 42.4	▲ 40.6	▲ 34.4
電気・精密機械	0.0	▲ 14.3	▲ 16.7	7.1	14.3	0.0	▲ 7.7	▲ 23.1	0.0
鉱業・窯業・土石	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 36.4	▲ 8.3	▲ 72.7	▲ 63.6	▲ 70.0	▲ 44.4
輸送用機械器具	▲ 14.3	0.0	7.7	13.3	15.0	7.1	▲ 6.7	▲ 11.8	▲ 31.3
その他	▲ 44.1	▲ 35.1	▲ 29.7	▲ 22.2	▲ 6.1	▲ 26.3	▲ 43.6	▲ 51.3	▲ 43.6



5. 製品・商品販売価格

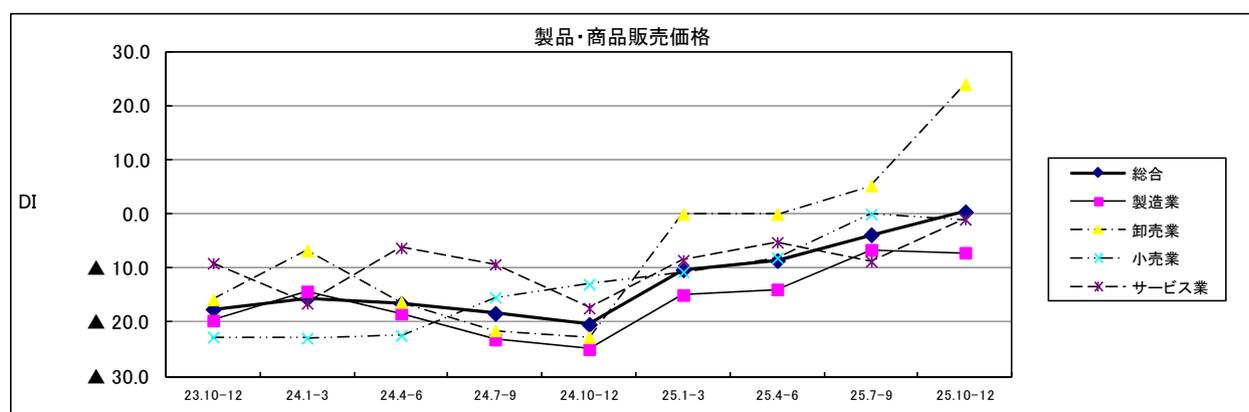
(1) 全体

総合DI（上昇＝下降）は0.4と7～9月期に比べ4.2ポイント改善しマイナスからプラスへ転換した。

業種別では、卸売業でプラス幅が拡大、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、小売業ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、製造業ではマイナス幅が拡大した。

平成26年1～3月期の先行き見通し総合DIは0.2（前回▲0.9）となり、マイナスからプラスへ転換する見通し。

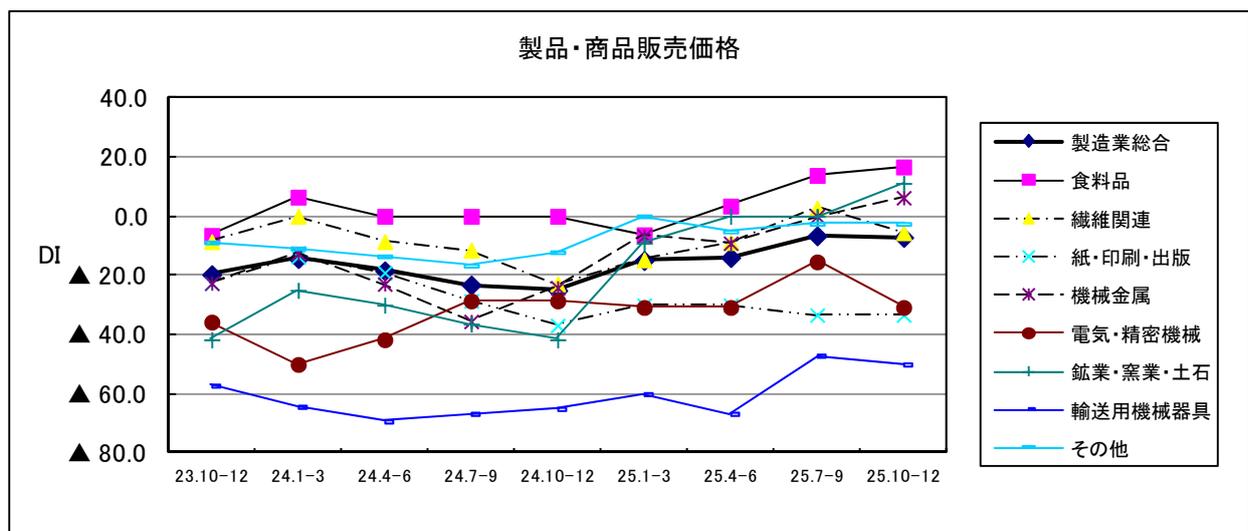
製品・商品販売価格	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
総合	▲ 17.6	▲ 15.6	▲ 16.5	▲ 18.4	▲ 20.4	▲ 10.3	▲ 8.6	▲ 3.8	0.4
製造業	▲ 19.7	▲ 14.3	▲ 18.4	▲ 23.2	▲ 25.0	▲ 14.9	▲ 13.9	▲ 6.6	▲ 7.1
卸売業	▲ 15.8	▲ 6.8	▲ 16.3	▲ 21.5	▲ 22.8	0.0	0.0	5.3	24.0
小売業	▲ 22.7	▲ 22.9	▲ 22.4	▲ 15.4	▲ 13.0	▲ 10.7	▲ 8.1	0.0	▲ 1.0
サービス業	▲ 9.1	▲ 16.5	▲ 6.3	▲ 9.3	▲ 17.4	▲ 8.5	▲ 5.2	▲ 8.7	▲ 1.0



(2) 製造業の内訳

食料品ではプラス幅が拡大、機械金属、鉱業・窯業・土石ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、紙・印刷・出版、その他ではマイナスで横ばいであった。しかし、繊維関連ではプラスからマイナスへ転換、電気・精密機械、輸送用機械器具ではマイナス幅を拡大させた。

製品・商品販売価格	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
製造業総合	▲ 19.7	▲ 14.3	▲ 18.4	▲ 23.2	▲ 25.0	▲ 14.9	▲ 13.9	▲ 6.6	▲ 7.1
食料品	▲ 6.5	6.5	0.0	0.0	0.0	▲ 6.3	3.4	13.8	16.7
繊維関連	▲ 8.6	0.0	▲ 8.6	▲ 11.4	▲ 22.9	▲ 14.7	▲ 8.8	2.8	▲ 5.6
紙・印刷・出版	▲ 22.7	▲ 13.6	▲ 19.0	▲ 28.6	▲ 36.8	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 33.3	▲ 33.3
機械金属	▲ 22.6	▲ 12.5	▲ 22.9	▲ 35.5	▲ 24.1	▲ 6.7	▲ 9.1	0.0	6.3
電気・精密機械	▲ 35.7	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 15.4	▲ 30.8
鉱業・窯業・土石	▲ 41.7	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 36.4	▲ 41.7	▲ 9.1	0.0	0.0	11.1
輸送用機械器具	▲ 57.1	▲ 64.3	▲ 69.2	▲ 66.7	▲ 65.0	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 47.1	▲ 50.0
その他	▲ 8.8	▲ 10.8	▲ 13.5	▲ 16.7	▲ 12.1	0.0	▲ 5.1	▲ 2.6	▲ 2.6



6. 製品在庫・商品在庫

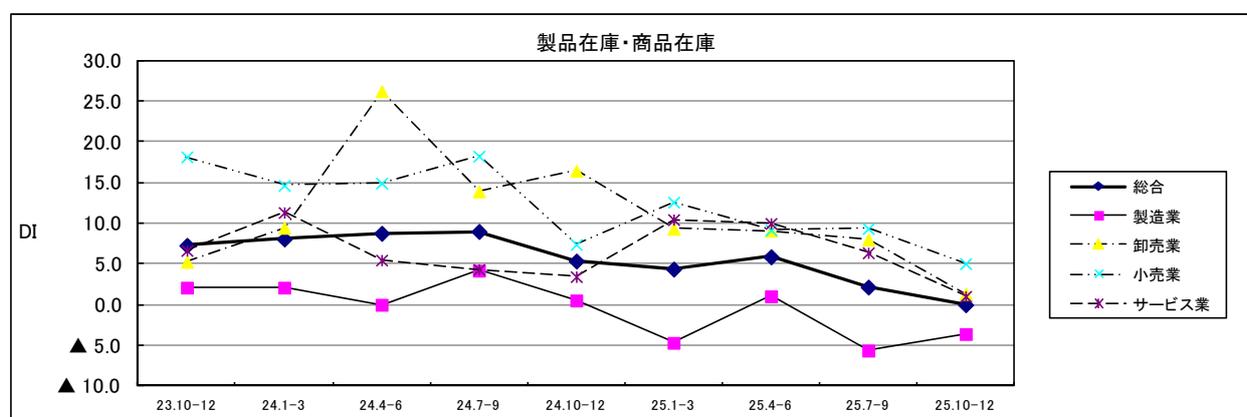
(1) 全体

総合D I（減少－増加）は0.0と7～9月期に比べ2.2ポイントプラス幅が縮小しプラスからプラスマイナスゼロへ転換した。

業種別では、製造業でマイナス幅が縮小したが、卸売業、小売業、サービス業でプラス幅が縮小した。

平成26年1～3月期の先行き見通し総合D Iは3.2（前回0.9）となり、プラス幅が拡大する見通し。

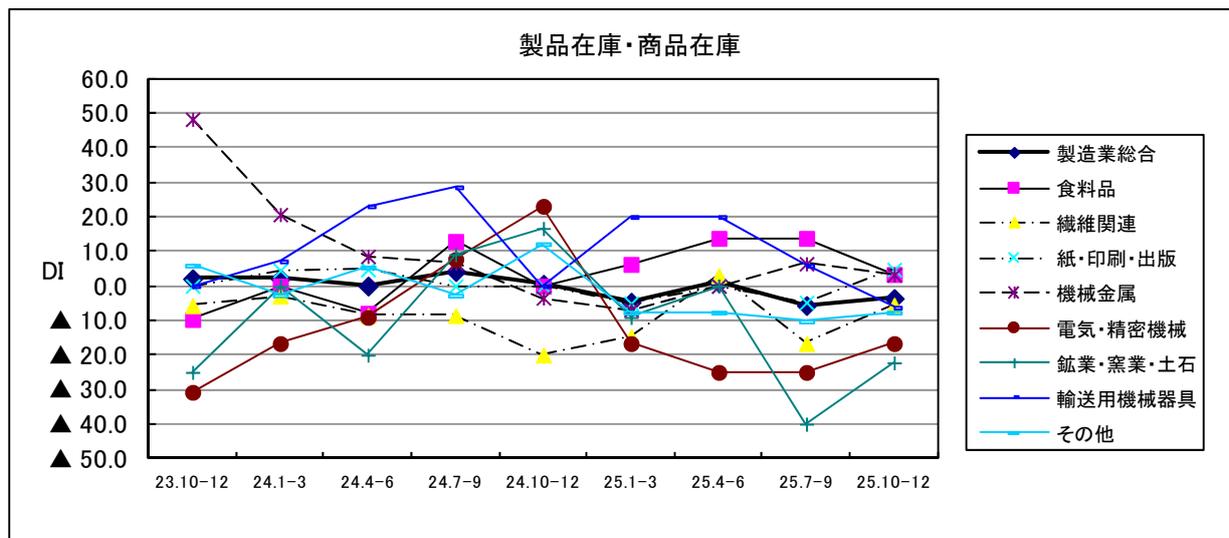
製品在庫・商品在庫	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
総合	7.3	8.1	8.8	9.0	5.4	4.4	5.9	2.2	0.0
製造業	2.1	2.1	0.0	4.2	0.5	▲ 4.7	1.0	▲ 5.6	▲ 3.6
卸売業	5.3	9.5	26.3	13.9	16.5	9.3	9.1	8.0	1.3
小売業	18.2	14.7	15.0	18.3	7.4	12.6	9.2	9.4	5.1
サービス業	6.7	11.3	5.5	4.3	3.4	10.5	10.0	6.4	1.0



(2) 製造業の内訳

紙・印刷・出版ではマイナスからプラスへ転換、繊維関連、電気・精密機械、鉱業・窯業・土石、その他ではマイナス幅が縮小した。しかし、食料品、機械金属ではプラス幅が縮小、輸送用機械器具ではプラスからマイナスへ転換した。

製品在庫・商品在庫	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
製造業総合	2.1	2.1	0.0	4.2	0.5	▲ 4.7	1.0	▲ 5.6	▲ 3.6
食料品	▲ 9.7	0.0	▲ 7.9	12.9	0.0	6.3	13.8	13.8	3.3
繊維関連	▲ 5.7	▲ 2.9	▲ 8.6	▲ 8.6	▲ 20.0	▲ 14.7	2.9	▲ 16.7	▲ 5.6
紙・印刷・出版	0.0	4.5	4.8	0.0	0.0	▲ 5.0	0.0	▲ 4.8	4.8
機械金属	48.3	20.7	8.6	6.7	▲ 3.4	▲ 6.9	0.0	6.5	3.2
電気・精密機械	▲ 30.8	▲ 16.7	▲ 9.1	7.7	23.1	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 16.7
鉱業・窯業・土石	▲ 25.0	0.0	▲ 20.0	9.1	16.7	▲ 9.1	0.0	▲ 40.0	▲ 22.2
輸送用機械器具	0.0	7.1	23.1	28.6	0.0	20.0	20.0	5.9	▲ 6.3
その他	5.9	▲ 2.7	5.4	▲ 2.8	12.1	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 10.3	▲ 7.7



7. 資金繰り

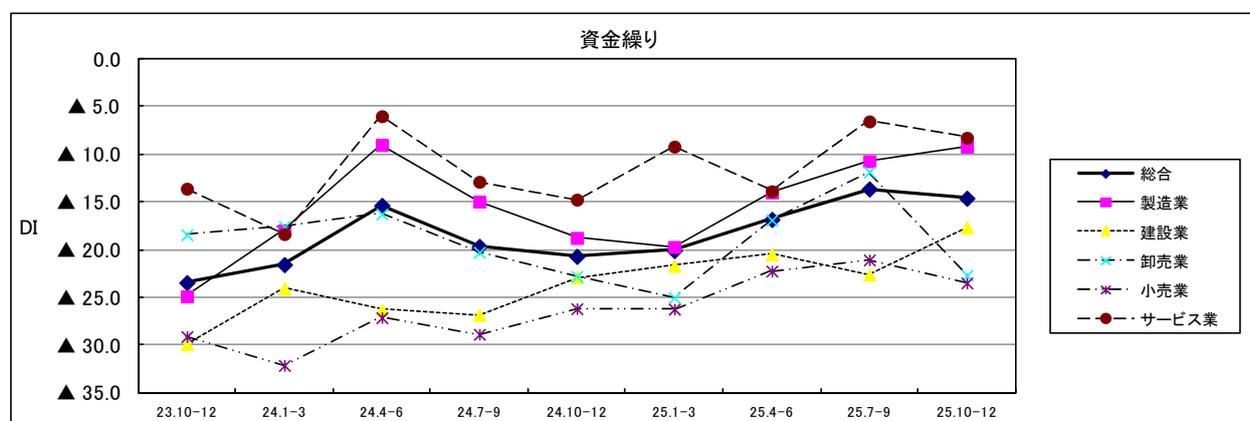
(1) 全体

総合D I（好転—悪化）は▲14.6と7～9月期に比べ1.0ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、製造業、建設業でマイナス幅が縮小したが、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が拡大した。

平成26年1～3月期の先行き見通し総合D Iは▲12.3（前回▲13.5）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

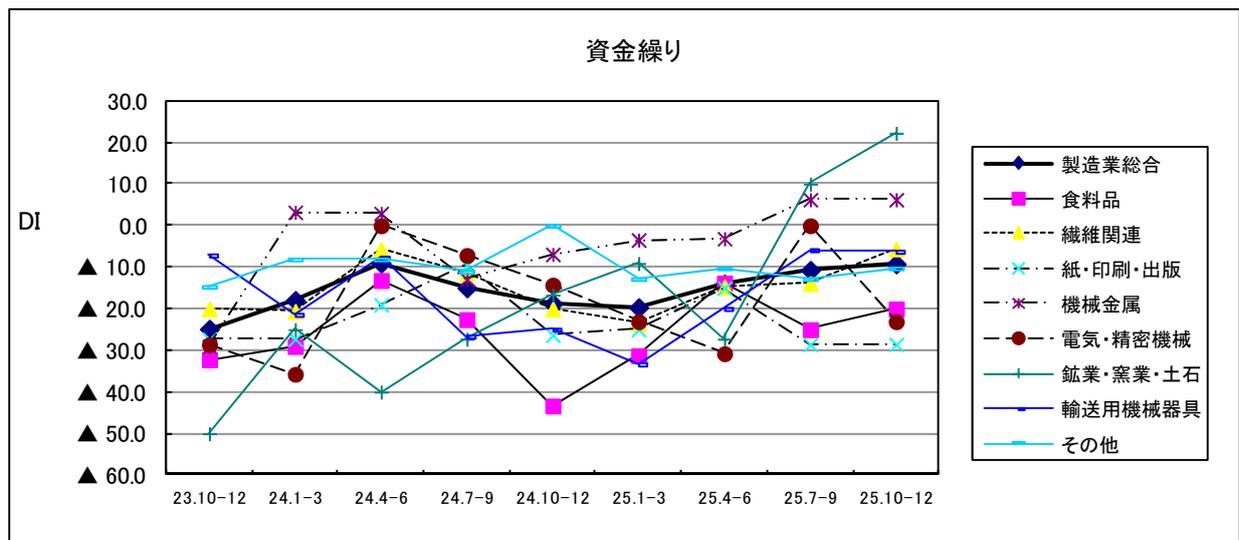
資金繰り	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
総合	▲ 23.4	▲ 21.6	▲ 15.3	▲ 19.6	▲ 20.7	▲ 20.1	▲ 16.8	▲ 13.6	▲ 14.6
製造業	▲ 24.9	▲ 17.9	▲ 9.0	▲ 14.9	▲ 18.8	▲ 19.7	▲ 14.0	▲ 10.7	▲ 9.2
建設業	▲ 29.9	▲ 24.1	▲ 26.3	▲ 26.8	▲ 22.9	▲ 21.7	▲ 20.5	▲ 22.6	▲ 17.6
卸売業	▲ 18.4	▲ 17.6	▲ 16.3	▲ 20.3	▲ 22.8	▲ 25.0	▲ 16.9	▲ 11.8	▲ 22.7
小売業	▲ 29.1	▲ 32.1	▲ 27.1	▲ 28.8	▲ 26.2	▲ 26.2	▲ 22.2	▲ 21.1	▲ 23.5
サービス業	▲ 13.6	▲ 18.3	▲ 6.0	▲ 12.9	▲ 14.7	▲ 9.2	▲ 13.9	▲ 6.5	▲ 8.3



(2) 製造業の内訳

鉱業・窯業・土石ではプラス幅が拡大、食料品、繊維関連、その他ではマイナス幅を縮小、機械金属ではプラスで横ばい、紙・印刷・出版ではマイナスで横ばいであった。しかし、電気・精密機械ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、輸送用機械器具ではマイナス幅を拡大させた。

資金繰り	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
製造業総合	▲ 24.9	▲ 17.9	▲ 9.0	▲ 14.9	▲ 18.8	▲ 19.7	▲ 14.0	▲ 10.7	▲ 9.2
食料品	▲ 32.3	▲ 29.0	▲ 13.2	▲ 22.6	▲ 43.3	▲ 31.3	▲ 13.8	▲ 25.0	▲ 20.0
繊維関連	▲ 20.0	▲ 20.6	▲ 5.7	▲ 11.4	▲ 20.0	▲ 23.5	▲ 14.7	▲ 13.9	▲ 5.6
紙・印刷・出版	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 19.0	▲ 9.5	▲ 26.3	▲ 25.0	▲ 15.0	▲ 28.6	▲ 28.6
機械金属	▲ 29.0	3.2	2.9	▲ 12.9	▲ 6.9	▲ 3.4	▲ 3.1	6.3	6.3
電気・精密機械	▲ 28.6	▲ 35.7	0.0	▲ 7.1	▲ 14.3	▲ 23.1	▲ 30.8	0.0	▲ 23.1
鉱業・窯業・土石	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 40.0	▲ 27.3	▲ 16.7	▲ 9.1	▲ 27.3	10.0	22.2
輸送用機械器具	▲ 7.1	▲ 21.4	▲ 7.7	▲ 26.7	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 5.9	▲ 6.3
その他	▲ 14.7	▲ 8.1	▲ 8.1	▲ 11.1	0.0	▲ 12.8	▲ 10.3	▲ 12.8	▲ 10.3



8. 採算（収益）

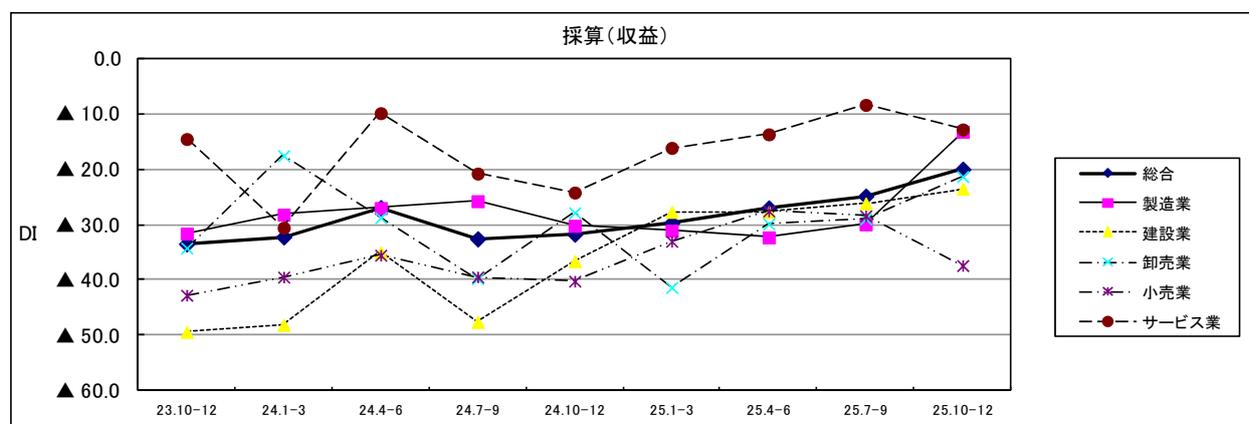
(1) 全体

総合DI（好転—悪化）は▲20.0と7～9月期に比べ4.9ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、製造業、建設業、卸売業でマイナス幅が縮小したが、小売業、サービス業でマイナス幅が拡大した。

平成26年1～3月期の先行き見通し総合DIは▲14.7（前回▲19.9）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

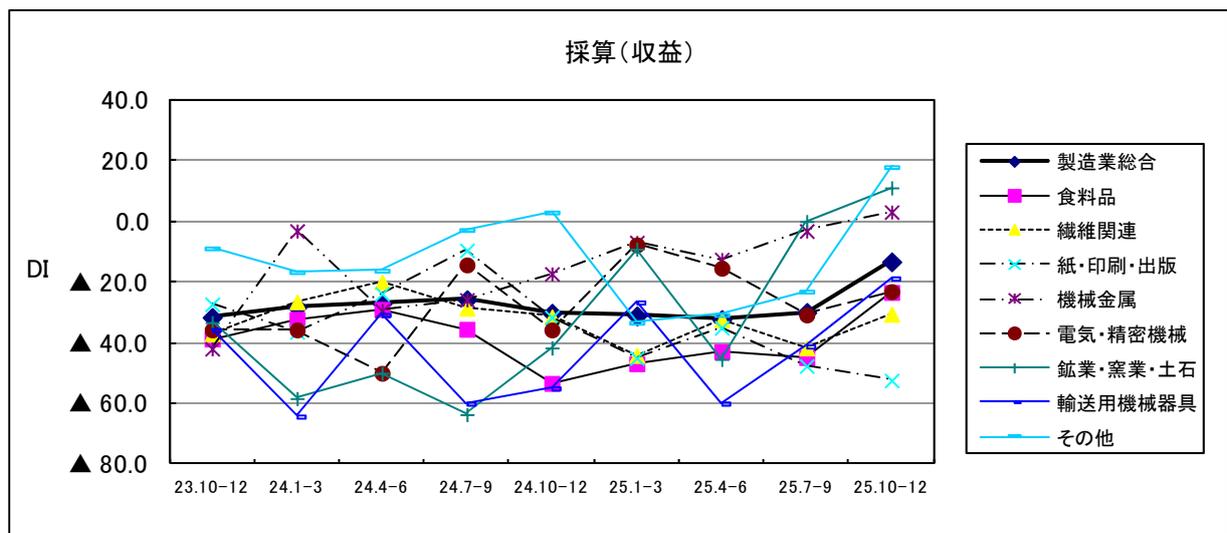
採算(収益)	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
総合	▲ 33.5	▲ 32.2	▲ 26.9	▲ 32.6	▲ 31.7	▲ 29.7	▲ 27.0	▲ 24.9	▲ 20.0
製造業	▲ 31.6	▲ 28.2	▲ 27.0	▲ 25.8	▲ 30.2	▲ 31.1	▲ 32.3	▲ 29.9	▲ 13.3
建設業	▲ 49.4	▲ 48.1	▲ 35.0	▲ 47.6	▲ 36.6	▲ 27.7	▲ 27.7	▲ 26.2	▲ 23.5
卸売業	▲ 34.2	▲ 17.6	▲ 28.8	▲ 39.7	▲ 27.8	▲ 41.3	▲ 29.9	▲ 28.9	▲ 21.3
小売業	▲ 42.7	▲ 39.4	▲ 35.5	▲ 39.4	▲ 40.2	▲ 33.0	▲ 27.6	▲ 28.4	▲ 37.4
サービス業	▲ 14.6	▲ 30.6	▲ 9.9	▲ 20.8	▲ 24.2	▲ 16.2	▲ 13.7	▲ 8.4	▲ 12.8



(2) 製造業の内訳

鉱業・窯業・土石ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、機械金属、その他ではマイナスからプラスへ転換、食料品、繊維関連、電気・精密機械、輸送用機械器具ではマイナス幅を縮小した。しかし、紙・印刷・出版ではマイナス幅を拡大させた。

採算(収益)	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
製造業総合	▲ 31.6	▲ 28.2	▲ 27.0	▲ 25.8	▲ 30.2	▲ 31.1	▲ 32.3	▲ 29.9	▲ 13.3
食料品	▲ 38.7	▲ 32.3	▲ 28.9	▲ 35.5	▲ 53.3	▲ 46.9	▲ 42.9	▲ 44.8	▲ 23.3
繊維関連	▲ 37.1	▲ 26.5	▲ 20.0	▲ 28.6	▲ 31.4	▲ 44.1	▲ 32.4	▲ 41.7	▲ 30.6
紙・印刷・出版	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 23.8	▲ 9.5	▲ 31.6	▲ 45.0	▲ 35.0	▲ 47.6	▲ 52.4
機械金属	▲ 41.9	▲ 3.1	▲ 29.4	▲ 25.8	▲ 17.2	▲ 6.9	▲ 12.5	▲ 3.1	3.1
電気・精密機械	▲ 35.7	▲ 35.7	▲ 50.0	▲ 14.3	▲ 35.7	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 30.8	▲ 23.1
鉱業・窯業・土石	▲ 33.3	▲ 58.3	▲ 50.0	▲ 63.6	▲ 41.7	▲ 9.1	▲ 45.5	0.0	11.1
輸送用機械器具	▲ 35.7	▲ 64.3	▲ 30.8	▲ 60.0	▲ 55.0	▲ 26.7	▲ 60.0	▲ 41.2	▲ 18.8
その他	▲ 8.8	▲ 16.7	▲ 16.2	▲ 2.8	3.0	▲ 33.3	▲ 30.8	▲ 23.1	17.9



9. 従業員数（常用）

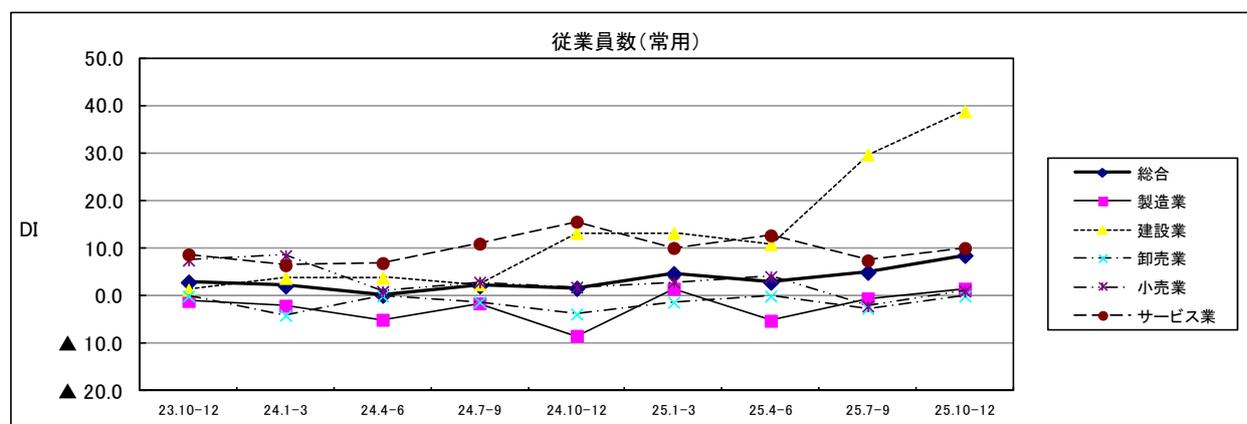
(1) 全体

総合D I（不足－過剰）は8.5と7～9月期に比べ3.5ポイント増加し、プラス幅が拡大した。

業種別では、建設業、サービス業でプラス幅が拡大、製造業、小売業でマイナスからプラスへ転換、卸売業でマイナスからプラスマイナスゼロへ転換した。

平成26年1～3月期の先行き見通し総合D Iは6.8（前回4.7）となり、プラス幅が拡大する見通し。

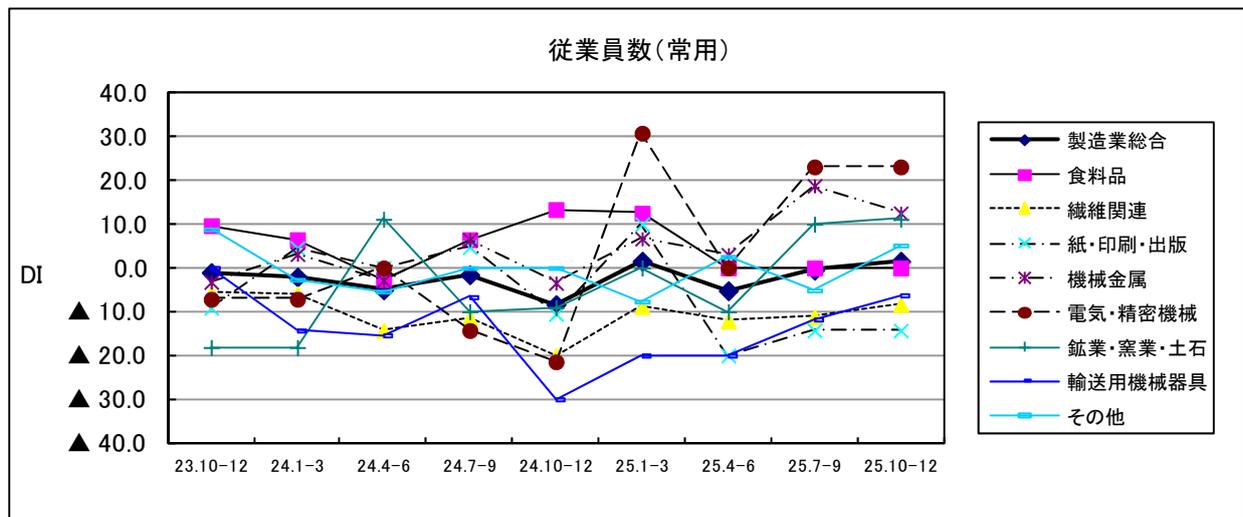
従業員数(常用)	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
総合	2.9	2.1	0.2	2.2	1.6	4.7	2.9	5.0	8.5
製造業	▲ 1.0	▲ 2.1	▲ 5.0	▲ 1.6	▲ 8.4	1.6	▲ 5.2	▲ 0.5	1.5
建設業	1.3	3.8	3.8	2.4	13.3	13.3	10.8	29.8	38.8
卸売業	0.0	▲ 4.1	0.0	▲ 1.3	▲ 3.8	▲ 1.3	0.0	▲ 2.6	0.0
小売業	7.5	8.5	0.9	2.9	1.9	2.9	4.1	▲ 2.1	1.0
サービス業	8.7	6.5	6.9	11.0	15.6	10.1	12.7	7.5	10.1



(2) 製造業の内訳

鉱業・窯業・土石ではプラス幅が拡大、その他ではマイナスからプラスへ転換、繊維関連、輸送用機械器具ではマイナス幅を縮小、電気・精密機械ではプラスで横ばい、食料品ではプラスマイナスゼロで横ばい、紙・印刷・出版ではマイナスで横ばいであった。しかし、機械金属ではプラス幅が縮小した。

従業員数(常用)	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
製造業総合	▲ 1.0	▲ 2.1	▲ 5.0	▲ 1.6	▲ 8.4	1.6	▲ 5.2	▲ 0.5	1.5
食料品	9.7	6.5	▲ 2.6	6.5	13.3	12.5	0.0	0.0	0.0
繊維関連	▲ 5.7	▲ 5.9	▲ 14.3	▲ 11.4	▲ 20.0	▲ 8.8	▲ 12.1	▲ 11.1	▲ 8.3
紙・印刷・出版	▲ 9.1	4.5	0.0	4.8	▲ 10.5	10.0	▲ 20.0	▲ 14.3	▲ 14.3
機械金属	▲ 3.2	3.1	▲ 2.9	6.5	▲ 3.4	6.7	3.0	18.8	12.5
電気・精密機械	▲ 7.1	▲ 7.1	0.0	▲ 14.3	▲ 21.4	30.8	0.0	23.1	23.1
鉱業・窯業・土石	▲ 18.2	▲ 18.2	11.1	▲ 10.0	▲ 9.1	0.0	▲ 10.0	10.0	11.1
輸送用機械器具	0.0	▲ 14.3	▲ 15.4	▲ 6.7	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 11.8	▲ 6.3
その他	8.8	▲ 2.7	▲ 5.4	0.0	0.0	▲ 7.7	2.6	▲ 5.1	5.1



10. 従業員数（臨時）

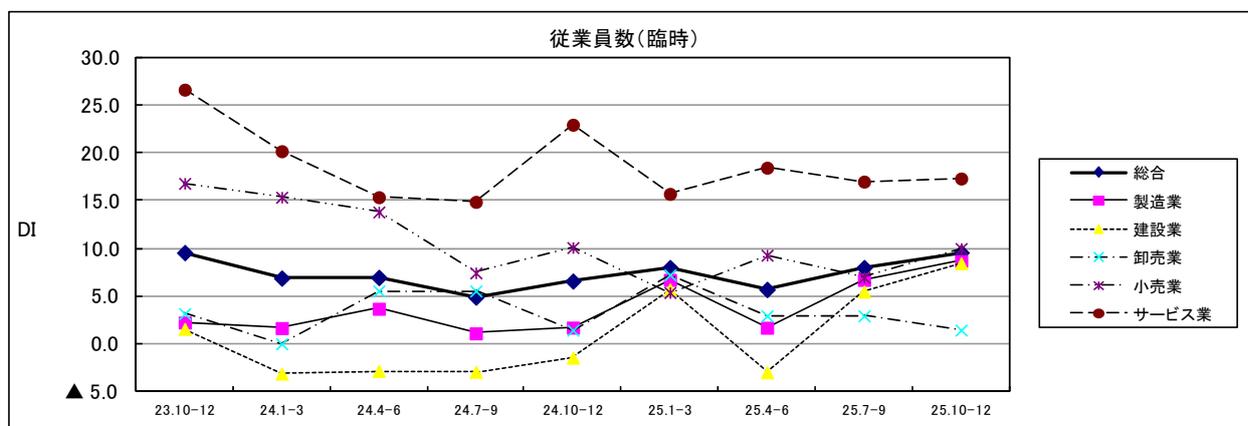
(1) 全体

総合D I（不足－過剰）は9.6と7～9月期に比べ1.6ポイント増加し、プラス幅が拡大した。

業種別では、製造業、建設業、小売業、サービス業でプラス幅が拡大した。しかし、卸売業ではプラス幅が縮小した。

平成26年1～3月期の先行き見通し総合D Iは9.9（前回6.4）となり、プラス幅が拡大する見通し。

従業員数(臨時)	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
総合	9.6	6.9	7.0	4.9	6.6	8.0	5.7	8.0	9.6
製造業	2.2	1.7	3.7	1.1	1.7	6.7	1.7	6.7	8.7
建設業	1.6	▲ 3.1	▲ 2.9	▲ 2.9	▲ 1.4	5.7	▲ 3.0	5.5	8.5
卸売業	3.2	0.0	5.6	5.6	1.4	7.2	2.9	2.9	1.4
小売業	16.8	15.4	13.8	7.4	10.1	5.4	9.3	7.0	10.0
サービス業	26.7	20.2	15.4	14.9	23.0	15.7	18.5	17.0	17.3



(2) 製造業の内訳

繊維関連ではプラス幅を拡大、食料品ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、輸送用機械器具ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、鉱業・窯業・土石ではプラスマイナスゼロで横ばいであった。しかし、機械金属、電気・精密機械、その他ではプラス幅を縮小、紙・印刷・出版ではマイナス幅が拡大した。

従業員数(臨時)	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12
製造業総合	2.2	1.7	3.7	1.1	1.7	6.7	1.7	6.7	8.7
食料品	9.7	6.7	5.3	3.2	10.3	6.5	3.6	0.0	10.0
繊維関連	3.0	18.8	6.3	3.1	3.2	9.4	12.9	3.0	17.6
紙・印刷・出版	▲ 5.9	0.0	10.0	0.0	▲ 11.8	12.5	▲ 17.6	▲ 5.6	▲ 11.1
機械金属	▲ 3.3	▲ 6.7	0.0	▲ 6.7	4.2	7.1	3.3	19.2	17.9
電気・精密機械	0.0	▲ 7.7	0.0	0.0	7.7	25.0	18.2	30.8	25.0
鉱業・窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
輸送用機械器具	0.0	▲ 7.7	▲ 7.7	6.7	▲ 15.0	▲ 6.7	▲ 13.3	▲ 6.3	0.0
その他	6.5	▲ 2.9	5.7	2.9	6.5	2.8	0.0	11.1	2.6

